



筑北村ため池 ハザードマップ

赤坂

お問い合わせ 筑北村役場産業課
0263-66-2111

この「筑北村ため池ハザードマップ」は、筑北村内にある赤坂池を対象に行った、はん濫解析結果をもとに、村が独自に行った現地踏査結果を踏まえて最大浸水深及びはん濫水が到達する時間の情報及び住民の皆様が避難するために必要な情報をまとめたものです。

自分の家がため池からのはん濫想定区域に入っていないからと言って、必ずしも安全であるとは限りません。

ため池からのはん濫に備え、日ごろからこのハザードマップを活用し、家族や地域で話しあい、一人一人が避難方法や避難場所を確認しましょう。

こんな時は要注意!!

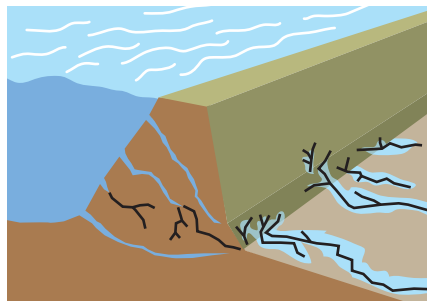
●大雨のとき

集中豪雨や長雨等により、ため池の水位が上昇し堤防に浸透する水の量が増え、ため池決壊の危険性が高まります。また、流木などによりため池の余水吐が塞がれるとため池が満水となり水が堤防からあふれ出し、堤防が侵食され決壊に至る恐れが更に高まります。



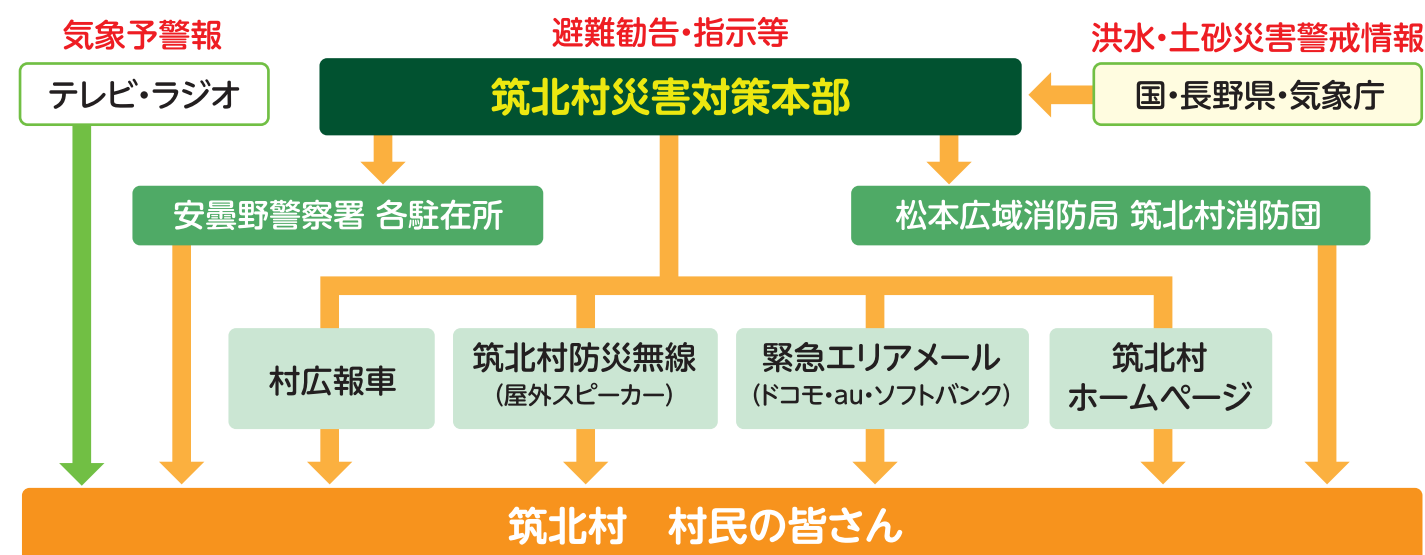
●地震のとき

地震では、堤防に亀裂や漏水・沈下が生じる可能性があり、強度低下により水圧に耐えきれず決壊することがあります。また、その後の余震で決壊することがあるため注意が必要です。



防災情報の伝達

防災情報は各機関から以下のような経路で伝達されます。
村民の皆さんはテレビ・ラジオ・インターネット等を活用して情報収集を行い、災害に備えて下さい。



いざ!というときに備えて

テレビやラジオ、サイレン音などの情報に十分注意し、呼びかけがあった場合は、速やかに避難して下さい。

●避難場所と避難経路の確認をしておきましょう

- ・水は高いところから低いところに流れます。道路は流れの強い洪水の通り道になります。洪水になったらどう避難するか、地形を見て確認しておきましょう。

●正確な情報収集と自主的な避難を心がけましょう

- ・テレビやラジオなどで正確な情報を収集しましょう。危険を感じたら、村・警察・消防署等に連絡するとともに、自主的に避難しましょう。

●非常持ち出し品を常備しましょう

- ・いつでも避難できるように非常持ち出し品を準備しておきましょう。



●避難の呼びかけに注意を払いましょう

- ・危険が迫ったときには、村から避難の呼びかけをすることがあります。



避難をするときに注意すること

●ため池決壊以外の災害も意識する

ため池が決壊している状況では、周辺で下図のような災害も発生している恐れがあることに注意して避難してください。



●危険な場所は避ける

避難時は安全な広い道を選ぶようにし、できるだけ狭い道や堀ぎわ・河川や水路の近くなどは避けてください。

●浸水し始めたら無理をしない

歩ける水深の目安は、ひざ位までです。水深が浅くても流れが速くなると大変危険なので、無理な移動は避けてください。

●屋内安全確保

浸水が速く逃げ遅れたときは、無理をせず自宅の2階や近くの頑丈な高い建物に避難してください。

ため池の状態を確認できます

●長野県ため池監視システム

スマホやパソコンから、誰でもため池の水位や監視カメラ画像を見ることができます。右記QRコードを読み込むと便利です。

アクセスはこちら → 長野県ため池監視システム 検索

▶QRコード



緊急時連絡先一覧

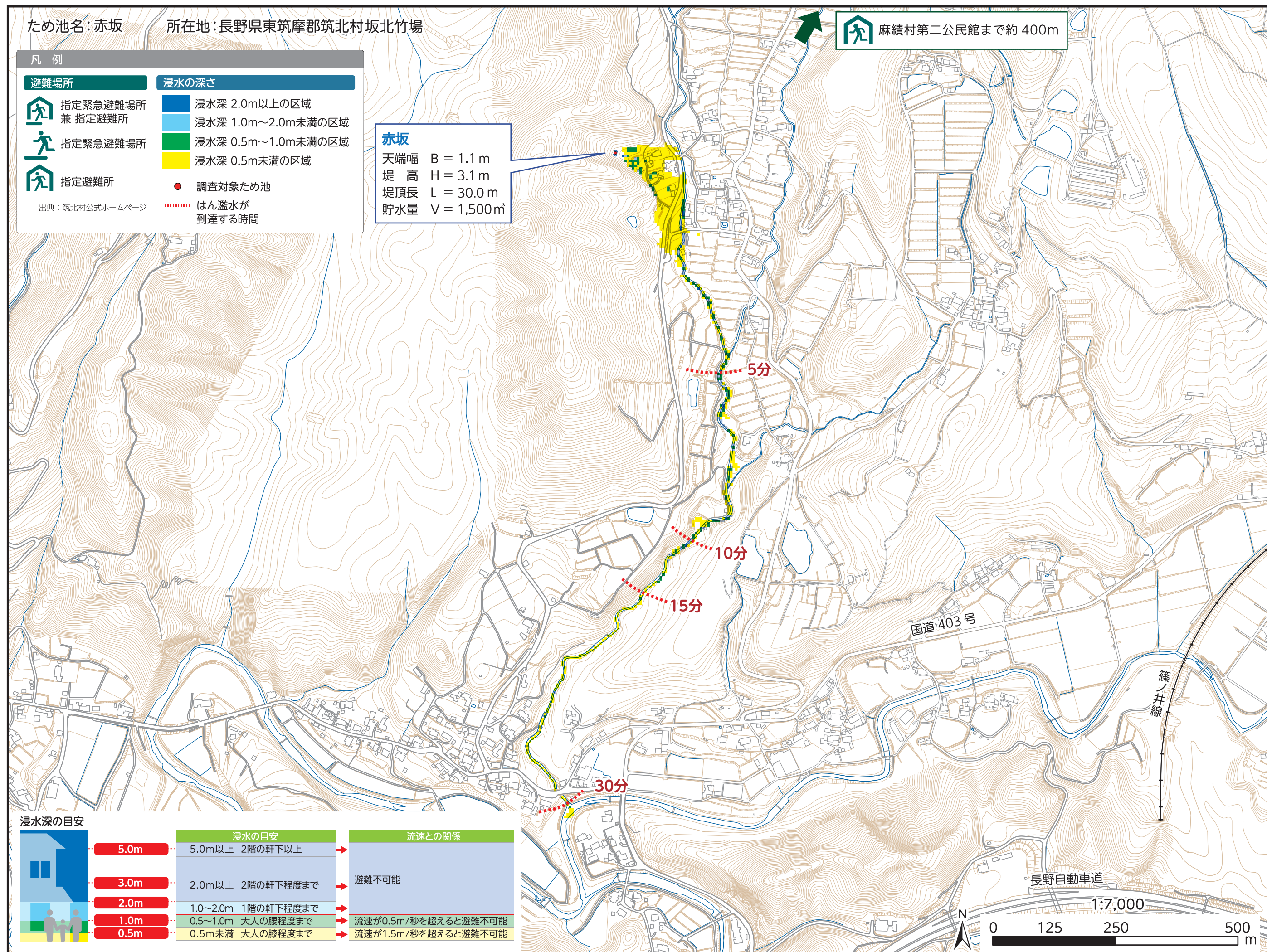
役 場	筑北村役場(坂北・坂井支所は転送される)	0263-66-2111
	教育委員会	0263-67-1161
火事・救急・救助の場合	松本広域消防局	119
警察への急報 110番	安曇野警察署	0263-72-0110
	西条駐在所	0263-66-2151
	坂井駐在所	0263-67-2362
その他	中部電力パワーグリッド(株)安曇野(営)	0120-985-232
	NTT東日本(故障)	0120-444-113

筑北村ため池ハザードマップ

赤坂

お問い合わせ
筑北村役場
産業課

0263
66-2111



※測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 3JHs 235 ※マップに掲載した地図の一部は、麻績村長の承認を得て、同村発行の数値地形図データを使用した。(承認文書番号 3麻振第 1227号)